

第32期第17回常任理事会議事録

日 時：2004年1月23日（金）13時30分～16時30分

会 場：日本気象学会事務局（8階）

出席者：廣田，古川，勝山，木田，近藤，田中，
新野，藤部，萬納寺，以上9人

その他の出席者：館，島村（事務局）

議 題

1. 第32期第16回常任理事会議事録の確認
2. 各委員会等の報告

庶務…後援名義等使用依頼受付

名称：全科展 in 東京2004

- 1) 主催：日本科学機器団体連合会・日本工業新聞社
- 2) 期日：平成16年12月1日(水)～3日(金)
- 3) 場所：東京ビッグサイト（東京国際展示場）
- 4) 名義：後援

- 日本気象学会東北支部事務局から「日本気象学会2003年度秋季大会決算報告」があった。（12月22日）
- 公益法人に係る実地検査の結果について
文部科学省研究振興局学術研究助成課より平成15年6月30日に行われた実地検査の結果報告が文書であった。指摘を受けた規則の整備について平成16年7月末日までに行う。
- 奨励賞候補者推薦依頼提出
各支部長，東京・大阪管区気象台長に奨励賞候補者の推薦依頼を送付した。
- 団体会員，特別会員，書店への会費請求
団体会員，特別会員，書店に対し2003年度会費の請求を行った。

会計…2003年12月分の収支報告

天気…Vol. 51 No. 1（2004年1月号）の掲載記事と
Vol. 51 No. 2（2004年2月号）掲載予定記事の報告。

- IUGG の報告は Vol. 51 No. 3から No. 5（2004年3月号から5月号）に3回に分けて掲載する。

気象集誌…Vol. 82 No. 2（April 2004）の掲載内容の報告。

- Vol. 82 No. 1b「GPS 気象学」特別号，Vol. 82 No. 3「メソモデル」特集号を発行予定。

総合計画…「日本気象学会定款」の改正案について事務局を通じ文部科学省研究振興局に示し，意見を聞いている。今のところ特段の問題は無く予定通り進んでいる。

- 会員制度の見直しについて，HP を使って意見を聞いている。
- 気象業務支援センターが「気象カレッジ」を開講する。平成16年4月開講予定（気象学会後援）。引き続き当学会との関係を議論していく予定。

教育と普及…夏季大学のテーマが「気象実験」に決定した。8月上旬，気象大学校での開催を計画している。

- 2004年合同大会の地学教育セッションへの参加内容について検討している。

国際学術交流…旅費援助申請状況1件

電子情報…2003年12月1～31日の気象学会ホームページのアクセス状況（61,771件）。

地球環境…2004年5月に予定している公開講演会の準備中。報道関係を対象としたフレームワーク（文章）を作成する。来場者に配布するパンフレットを計画している。4月中にはリハーサルを行いたい。

その他…電子レター誌発行準備委員会から1月16日，17日に開催された第4回委員会の開催報告があった。（1）準備経過の確認，（2）編集作業の流れ，（3）予算案，（4）編集規程，（5）レター誌の名称の検討，（6）発行までのスケジュール

- 名誉会員の推薦を検討したが，32期としては，推薦は行わないとの報告があった。

3. 会員の新規加入等について

新入会員13，退会150を承認。1月21日現在，会員数4,228名（内通常会員3,776名）。

4. 2004年度学会賞の推薦について

気象学会賞候補者推薦委員会から推薦された2名について，推薦文の一部を修正した上で常任理事会で受理することとした。共同研究の場合の功績をどのように評価するのか議論された。

5. 2004年度藤原賞の推薦について

気象学会藤原賞選考委員会から推薦された2名に

ついて、推薦文の一部を修正した上で常任理事会で受理することとした。

6. 2004年度事業計画（案）について

次回の常任理事会までに、加筆、修正事項を報告することとした。

7. 2004年度予算検討資料について

2002年度決算、2003年度実績内容を踏まえて、2004年度の予算案が示された。各担当から2004年度の事業計画内容に合わせて予算案の修正があれば次回の常任理事会までに報告を行うこととした。

8. 第33期役員選挙について

第33期役員選挙管理委員会作業進捗状況の報告。立候補の受付は13日に締め切られた。選挙管理委員会から2月17日までに投票用紙が各会員あてに郵送

される。投票の締め切りは3月15日。

9. 第32期第2回評議員会の議題について

第2回評議員会を2004年3月15日（月）に開催する。各評議員からの指摘事項への回答案が各担当理事から示された。取りまとめた資料を、1月26日に各評議委員に開催案内とともに送付予定。

10. 学会運営に関する諸問題（継続）について

春季・秋季大会の運営費用の問題について、引き続き議論を行う。今年度中に具体案を作成し、春の総会で会員の意見を聞く。

11. 地球物理学関連学会の連携に関する検討WGメンバーの推薦について

近藤理事を推薦したいとの提案に対し、常任理事会全員一致で了承した。

2004年度の総会成立に向けてのお願い

常任理事会

春季大会第2日目（5月17日（月））に予定されている2004年度総会の成立条件は通常会員の過半数（定款第38条）となっており、例年、その成立が極めて厳しい状況が続いています。ここに、改めてご関心をお寄せいただき、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年は総会参加票の投票期間が特に短く、更に厳しい状況にあります。総会資料および総会参加票（はがき）は「天気」4月号に掲載しますが、これを4月24日（土）頃には会員各位にお届けできるように務めます。

「天気」4月号の総会資料を読んでいただき、総会参加票による意思表示を全ての通常会員が必ず行うようお願い致します。
